

Time Schedule

コース内容について



平日クラス (1.5時間/週2回) セッションの流れ

1

COMMUNICATION

コミュニケーション

20分

2

PYGMALION

ピグマリオン

25分

3

TEA & GAME

ティー&ゲーム

15分

4

READING / ACTIVITY

リーディング /

アクティビティー

15分

5

PHONICS / WRITING

フォニックス /

ライティング

10分

6

LOG / FREE

記録 / フリー

(読書)

5分~



Basic コース

(2歳・3歳児対象)

10時半 ~ 12時

13時 ~ 14時半



Kinder コース

(年中・年長児対象)

15時半 ~ 17時

サタデークラス



Primary コース

(小1~3対象)

15時半 ~ 17時

サタデークラス

What's Pygmalion?

ピグマリオンのカリキュラム

脳認知科学によれば、人間の知能は

- ① 指先を含む運動能力
- ② 空間位置把握能力
- ③ 図形形態認知能力
- ④ 数論理能力
- ⑤ 言語能力（母語）すなわち日本語＝国語力
- ⑥ 社会性

という、6つの領域からできています。ピグマリオンのカリキュラムは、この6つの能力を育成するために、これらの要素を1回の授業の中に全て盛り込んだカリキュラムとなっています。更にイングリッシュ・ピグマリオンでは、この授業を全て英語で行う事で、幼児期に数学の基礎能力、国語力、英語力が同時に自然に身につけられる他に類を見ない新しいコースが誕生しました。

ピグマリオン・メソッドは、ピグマリオン学育研究所の伊藤 恭先生が開発された独自の専用教具を用い、空間図形把握能力に加え年少児で20まで、年中・年長児で1万までの4桁の数概念を育成します。このメソッドは幼児の能力開発に驚異的な成果をあげており、その証拠に灘中合格者日本一の浜学園が運営する幼児部門「はまキッズオルパスクラブ」にピグマリオンメソッドと専用教具を提供しているのがピグマリオン学育研究所を設立された伊藤 恭先生です。

Pygmalion's Original Teaching Materials



ウッディーブロック

数の合成分解能力及び、構成把握能力・数能力・3次元空間把握能力を育成する教具の1つ。



ヌマーカステン

数処理を数えるという低い次元で行うのではなく『5進法』で20までの足し算・引き算を自在に行う教具です。



ドット棒C型

この教具を使うと、1・10・100・1000の位の数を、単なる数値ではなく数量として視覚的に感じることが出来るので、数字の1～20までの数の加減暗算能力があれば、年中児から年長児で1万までの加減暗算もすぐ出来るようになります。



天地パズル

大きな直角二等辺三角形1つと中くらいの大きさの直角二等辺三角形1つ、正三角形1つに小さな直角二等辺三角形3つと平行四辺形1つ台形1つの計8つの図形から成り立っています。タングラムよりも1つパーツが多いので、難易度が増します。たくさんの種類の図形に触れられるので、遊びを通して図形形態把握能力が育成できます。

その他、マグプレート、ペリカンパズル、カモシカパズルなど

SATURDAY CLASS サタデークラス

サタデークラスは平日とレッスンを組み合わせたり、普段他の習い事で忙しいと言う幼稚園児や小学生に最適です。又、インターナショナルプリスクール（英語の保育園）を卒園したお子様たちの英語力維持にも最適です。オックスフォード・リーディングツリーのIn Factシリーズなどのサイエンス・ノンフィクションの多読本を用い、よりインテンシブな内容の授業をお子様のレベルに合わせて提供することも可能です。年間を通して、様々な楽しい英語のイベントを開催し子供たちの好奇心とやる気を引き出し、バイリンガルに成長することを目指します。

